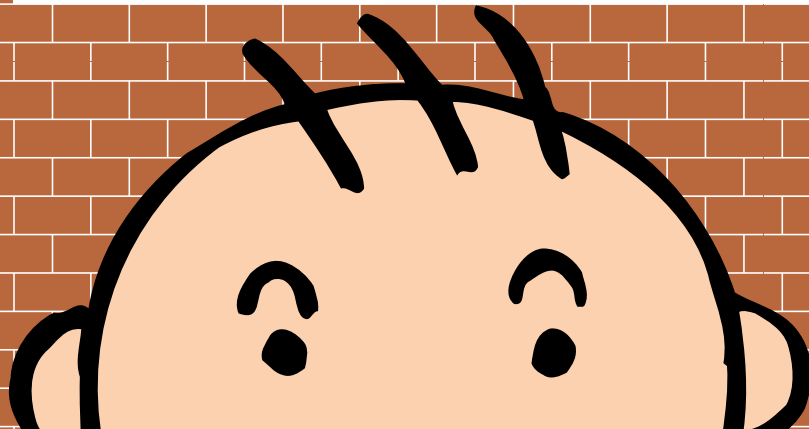


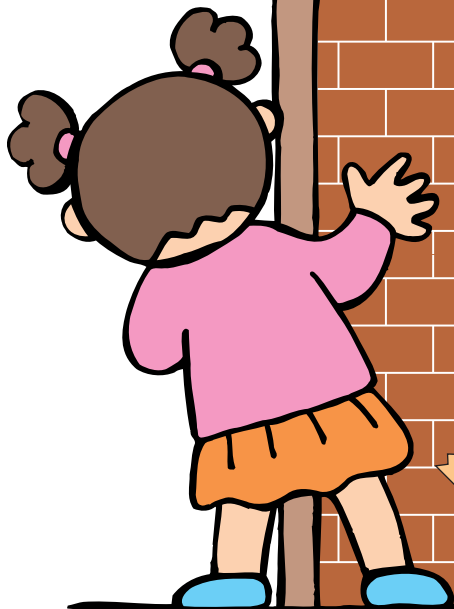
バリアフリーってなに？

ひとにやさしいまちづくり

「バリアフリー」という言葉ことばを知しっていますか？
言葉ことばは知しっていても、意味いみがよくわかっていない人や、
初はじめてきく言葉ことばなので、知しらないという人ひともいるでしょう。
知しっている人ひとも、知しらない人ひとも、
この「バリアフリー」についていっしょに考かんがえてみましょう



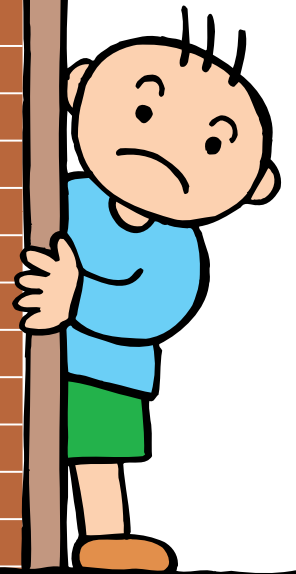
バリアフリーとは…？



「バリアフリー」の
「バリア」とは、
「じゃまをするようなかべ」、
「フリー」とは、
「とりのぞく・自由じゆうになる」
という意味です。
つまり、「バリアフリー」とは、
「かべをとりのぞいて自由じゆうにする」
ということです。

「かべ」って、なあに？

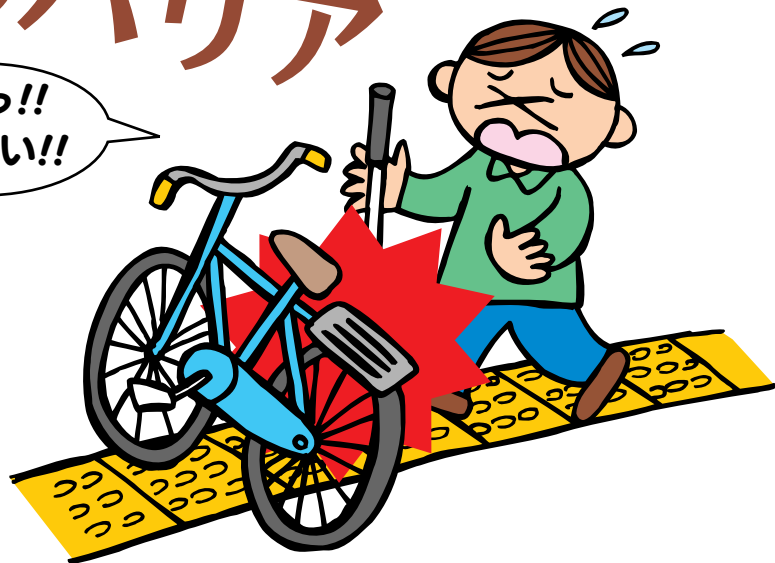
ここでいう「かべ」とは、
わたしたちがまいにち生活していくうえで、
こまったり、ふべんだおもと思ったりするものことです。
たとえば、高いところにあるものを
とろうとしたときに、手が届かなくて
こまったことはありませんか？
これが「かべ」です。
こういった「かべ」つまり「バリア」は、
人によってそれぞれ違います。
では、社会には、
どのような「バリア」があるのでしょうか？



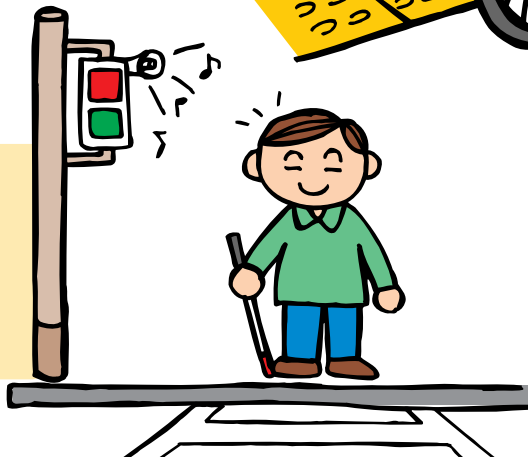
目が不自由な人のバリア

め ぶじゆう ひと しる つえ
目が不自由な人は、白い杖と
あし うら かんかく
足の裏の感覚をたよりに、
てんじ
点字ブロックをたどって歩きます。
てんじ うえ
点字ブロックの上に
じてんしゃ もの お
自転車や物が置いてあると、
ぶつかって ころ して しまうかも知れません。

あっ!!
危ない!!

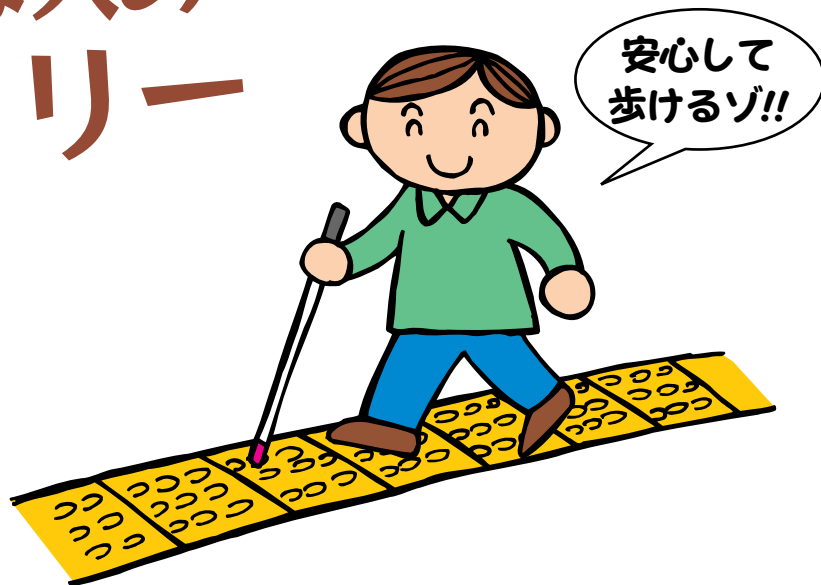


しんごう か
信号が変わっても、わからないため
たいへん 危険です。
おんせい し
音声で知らせてくれる
しんごうき おうたんほどろ
信号機があれば、横断歩道が
わた 渡りやすくなります。

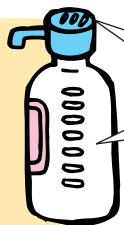


目が不自由な人の バリアフリー

てんじ
点字ブロックのうえに、
なに お
何も置かれていないと
め ふじゆう ひと あんぜん
目が不自由な人は安全に、
あんしん ある
安心して歩くことができます。



ようき かたち
シャンプーとリンスの容器の形は
よく似ているため、目で見ないと
くべつ もの
区別できない物があります。
そのため、さわって区別できるように
シャンプーの容器にようき
ギザギザをつけています。



シャンプー



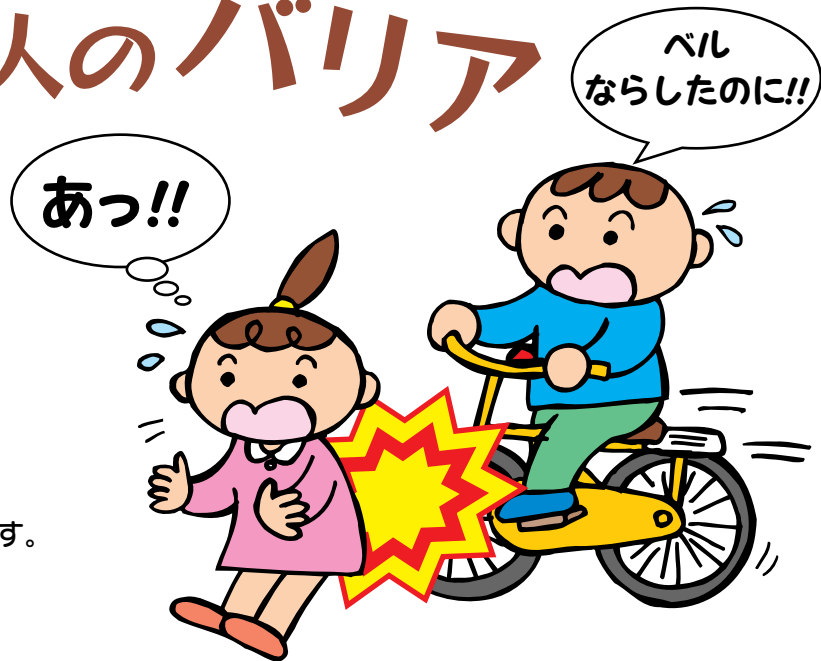
リンス

ギザギザがある

このほかにも
め ふじゆう ひと
目が不自由な人のための
き
気づかりがされている
せいひん
製品はないかな？
み まわ
身の回りのものを
み
見てみよう。

耳が不自由な人のバリア

みみ ふじゆう ひと
耳が不自由な人のこまることは、
しょうがいがあることが見ただけでは
わからないことです。
うし こえ
後ろから声をかけられたりしても、
きづくことができません。
じてんしゃ き ひと
自転車のベルも、聞こえない人にとっては
きづくことが出来ませんから注意が必要です。



わたしたちは、おと おお
わたしたちは、音で、多くのことを
はんだん
判断しています。
みみ ふじゆう ひと
しかし、耳が不自由な人は、
おと
「音」という、
たいせつ じょうほうげん も
大切な情報源を持たないのです。

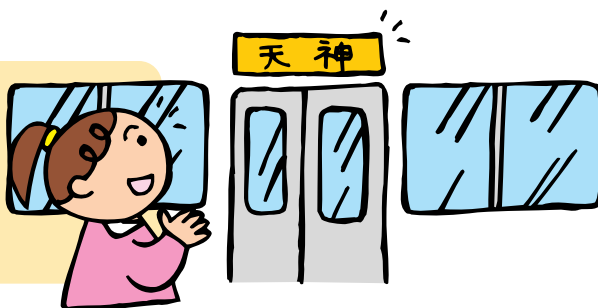


耳が不自由な人の バリアフリー

でんわ か つか
電話の代わりに、メールやファクシミリを使って、
こえ もじ
声を文字にかえたり、
あいず おと しんどう ひかり
チャイムや合図などの音を振動や光にかえて
みみ ふじゅう ひと じょうほう
耳の不自由な人へ情報を
つた
伝えることができます。

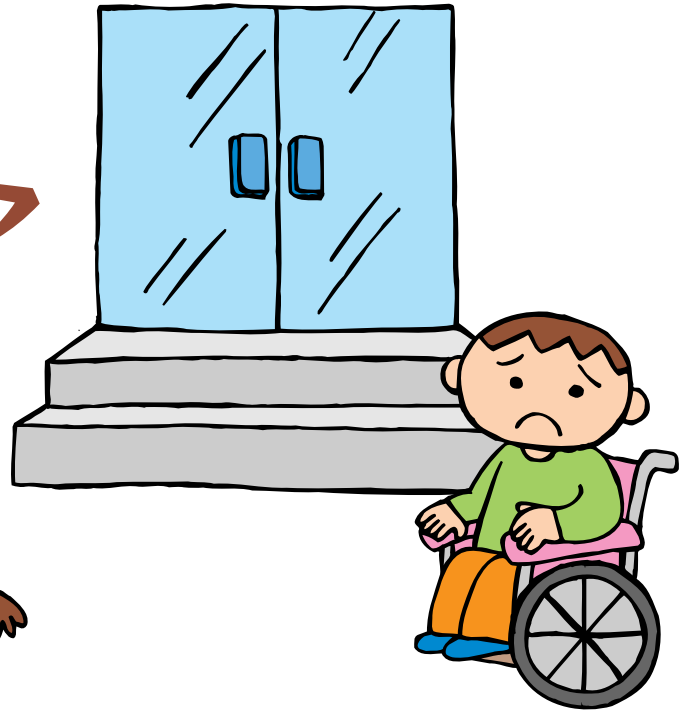


さいきん でんしゃ なか
最近では、電車やバスの中で、
えきめい もじ し
駅名などを文字で知らせる
ようになってきました。

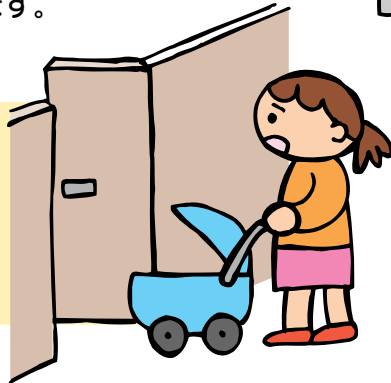


車いすを使っている人や ベビーカーを 押している人の バリア

あるひと
歩いている人にとっては
なんでもない階段や、せまい通路も
車いすやベビーカーを
押している人には進むことが
できないことがあります。



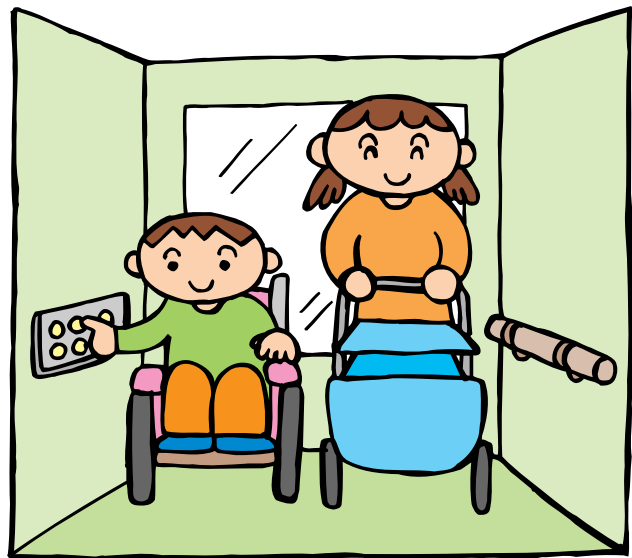
トイレでも
入り口がせまくて
入りにくいことが
あります。



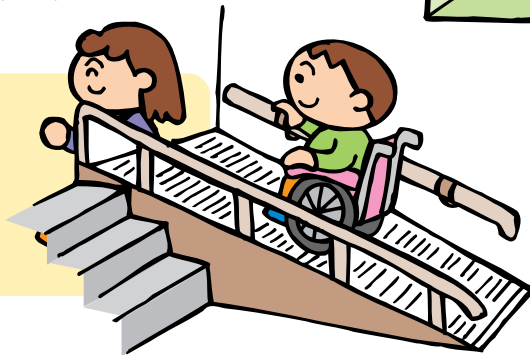
車いすを使っている人や ベビーカーを 押している人の バリアフリー

くるまの
車いすやベビーカーでも乗れる

エレベーターがあったり、
つうろはばひろきもある
通路の幅が広いと、だれもが気持ちよく歩いて、
あんしんそとで
安心して外に出かけられます。



たてもなか
建物の中にスロープや
ひろ
広いトイレがあると、
みんないっしょに
で
出かけられます。

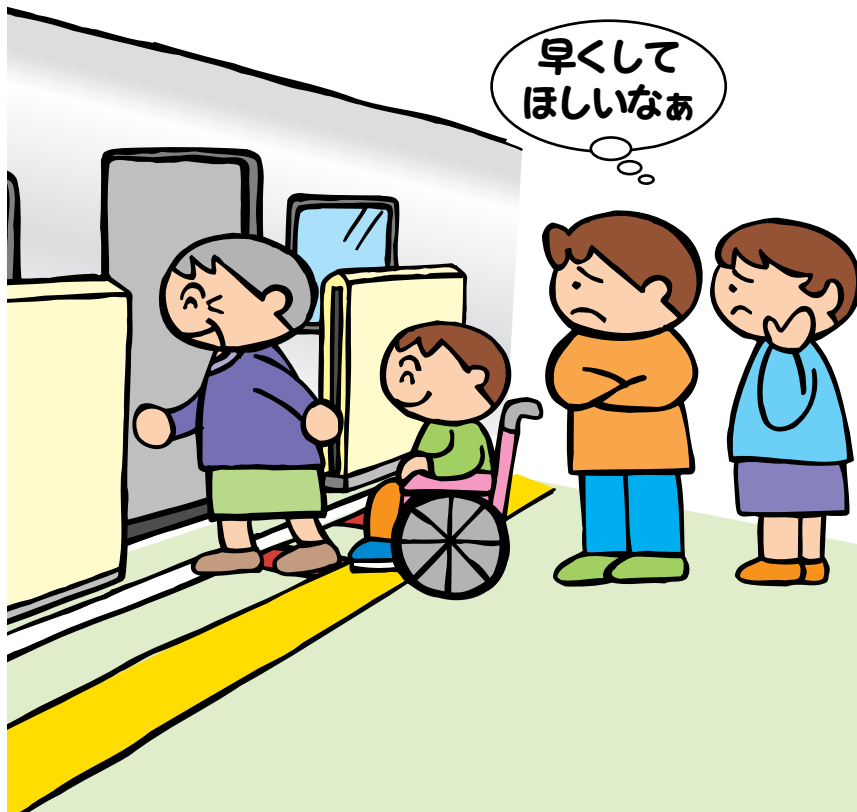


心のバリア

「バリア」となるのは、
たてももの つうろ
建物や道路ばかりではありません。
とき ひと こころ
時には、人の心が「バリア」になって、
しょう ひと
障がいがある人、
おとし こどもを つれ た人が
しゃかい さんか
社会に参加できなくなってしまう
ようなこともあります。

じぶん
自分にとっては、なんでもないことが、
あいて
相手にとっては、
バリアになっていることもあります。

あいて りかい
相手を理解していないために
「バリア」をつくってしまうことは
とても さんねん
残念なことです。



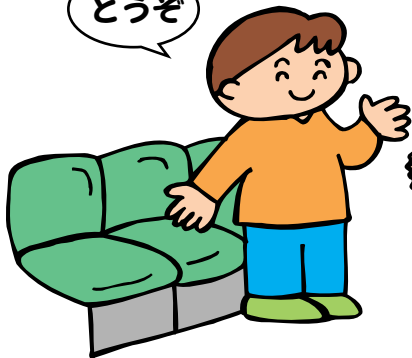
なにか
とりましょうか？



一番上の
たなの商品を
とってください



どうぞ



ありがとう



しょう ねんれい せいべつ かんけい
障がいや年齢、性別に関係なく
しゃかい
社会をつくる相手として、
たが せんじょう せつ ところ も
お互いを尊重しあい、接する心を持ち、
ひと
それぞれの人にとってどんなことが
よ りかい
「バリア」になるのかを良く理解し、
と あいそ
こまっていることを取り除いたり、
てだす
ちょっとした手助けが
ふつう ひつよう
普通にできるようになることが必要です。

た ぶぶん
足りない部分を、
たす
みんなで助けてあげられることが
ところ
心のバリアフリーです。



ひとにやさしいまちづくり

平成17年11月

発行:福岡市保健福祉局総務部計画課

〒810-8620福岡市中央区天神一丁目8番1号

電話:092-733-5344

FAX:092-733-5587

メール:keikaku.PHWB@city.fukuoka.lg.jp